

ASIAN GATEWAY OSAKAをめざして

大阪府、大阪市と関経連、大商、関西経済同友会が官民で共同出資し、2013年4月に発足した大阪観光局。昨年度212万人だった大阪に訪れる外国人を、2020年度には650万人に増加させようという意欲的な目標を掲げて活動を展開している。加納國雄局長にその戦略を聞いた。

外国人観光客の誘致に必要な視点は。

海外での大阪の知名度は、残念ながら高くはありません。今後、大阪がさらに発展するための重要なキーワードの一つは、やはり「観光」だと思います。

今年4月に活動を始めた大阪観光局では、2020年度の外国人訪問者数を昨年度の約3倍の650万人に増やす目標を掲げました。この目標を実現するため、私たちが真っ先に取り組んだことは、訪日外国人のニーズを把握することでした。これまで、日本の観光政策において、外国マーケットの分析は十分に行われてきませんでした。マーケットを知らずに、マーケティングはできません。欧米から見る大阪、中国から見る大阪、韓国から見る大阪、東南アジアから見る大阪は、それぞれイメージが異なるため、各国から大阪がどのように見られているかを知ることが重要であると考え、関西国際空港(関空)にて4月中旬から2カ月をかけて外国人動向調査を実施しました。

大阪を国内外にPRする具体的な取り組みは。

まずは、外国人観光客を大阪に呼び込むキャッチワードが必要でした。そこで、「ASIAN GATEWAY OSAKA (大阪はアジアの玄関)」というキャッチワードを定めました。「ASIAN GATEWAY」という言葉自体はよく耳にされるかもしれませんが、「ASIAN GATEWAY OSAKA」はオリジナルのキャッチワードとして、実は、商標登録も行っています。このキャッチワードを使っての国外での最初のキャンペーンとして、11月から米国・CNNテレビでコマーシャルを放映しています。また、国内でのPRとして、西日本旅客鉄道、関西の私鉄5社、大阪市交通局、新関西国際空港の8社連名で「ASIAN GATEWAY OSAKA」のポスターを作成し、「おもてなし宣言」を行いました。

このほか、「VENTURING to ASIA? Start in OSAKA」という言葉も、名刺に印刷するなどして売り



加納 國雄 大阪観光局長

出しています。意味は、「アジアでベンチャーを立ち上げたいなら、大阪で始めるべし」。海外の人にもおなじみのカラオケや回転寿司などが、実は大阪発祥であり、「ものづくり日本」の代表格である大阪・関西にはクリエイティブな人間が集まっている、ということ積極的にアピールしていきます。

また、観光客数が回復基調にある中国については、10月に、浙江省と江蘇省の観光事業者との間で、相互に観光客を送り合う覚書を締結しました。今後、中国では日本に向けた団体旅行のツアー商品が売り出され、年間6万人の中国人が日本を訪れる予定です。この動きが他地域にも波及し、さらに日本へのインバウンドの呼び込みにつながるものと期待しています。

海外の人が、魅力を感じる大阪のポイントは。

やはり、「食」でしょう。観光旅行において、食は最も大切なものです。大阪は観光資源が不足しているといわれることもありますが、「高くておいしいもの」ではなく、「安くおいしいもの」を求める「食いだおれ文化」こそ、大阪の誇るべき大きな資源です。食の価値に厳しい姿

勢は、商人のまちの伝統であり、その飾らない文化こそが大阪の魅力ではないでしょうか。

多様化する観光客。今後に向けた方策は。

関空への格安航空会社(LCC)就航やビザの緩和等を背景に、特に東南アジアからの観光客が急増しています。その意味でも、イスラム教徒のためのハラール食への対応の強化は不可欠です。ムスリムに対応するレストラン一覧の作成や、ハラール化した日本食の提供など、まだまだ取り組むことは多くあります。

ソフト面に加え、インフラ環境を整えることも必要です。スマートフォン等を持参する観光客のため、「大阪free Wi-fi」と名付けた無線通信の環境整備にも取り組みます。

さらに、今後急増するといわれるクルーズ船にも注目しています。去年は32隻が来航しましたが、新たな旅の形として人気が高まっています。海の玄関口としての天

保山の役割は増していくでしょう。

もちろん、医療ツーリズムやMICE誘致も忘れてはいけません。IR(統合型リゾート)はコンベンションにもつながる新しい複合的リゾートとのことで、現在検討がなされていますが、大阪でも取り組むべきだと考えます。

最後に、関西や関経連への期待を。

2020年に東京でオリンピックが開催されますが、東京が「スポーツ」なら、大阪・関西は食も含めた「文化」で集客をはかるべきです。フランスを訪問する外国人は年間8,300万人に上ります。関西だけでも、大阪だけでも、もっと多くの観光客を呼ぶことができるはずです。

インバウンド増加に向け、関係者がバラバラで誘客するのではなく、関経連をはじめ関西の関係機関と連携を密にして活動を進めたいと思っています。一丸となって、観光について語り、関西の魅力を売り込んでいきましょう。

(聞き手：産業部 西斗志夫)

★大阪では、この冬、「大阪・光の饗宴2013」が開催されます。50日間にわたって「光でつながる大阪」をぜひご堪能ください!★

多彩な光を堪能する
50DAYS!

開催期間 2013/12/1(日)～2014/1/19(日)*
開催場所 中之島公園、御堂筋をはじめ大阪市内各所

※開催期間は各プログラムによって異なります。

★大阪・光の饗宴とは

いまや冬の風物詩として定着した「御堂筋イルミネーション」と「OSAKA光のルネサンス」。2013年度は、両事業をコアに、梅田、難波、アベノ・天王寺などの各エリアで展開する光プログラムを一体化し、大阪ならではの光の文化が街中に広がります!

★OSAKA光のルネサンス2013

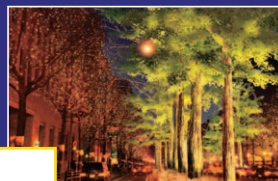
開催期間 2013/12/15(日)～12/25(水)
開催時間 17:00～22:00
開催場所 大阪市役所周辺～中之島公園剣先

水辺を彩るファンタジックな光と音楽。壮大なスケールのイルミネーションが中央公会堂、中之島公園周辺で展開されます。

★御堂筋イルミネーション2013

開催期間 2013/12/1(日)～2014/1/19(日)
開催時間 17:00ごろ～23:00
開催場所 大阪市庁舎正面および
淀屋橋交差点(土佐堀通)～新橋交差点(長堀通)

約1.9kmに渡る日本一長い光のストリート。
華やかに彩られたイチョウ並木は、ラグジュアリーなムード満点。



ほかにもイベントが盛りだくさん!!

- 1 ドイツ・クリスマスマーケット大阪2013
- 2 梅田スノーマンフェスティバル2013
- 3 中之島ウエスト「冬ものがたり2013」
- 4 天満・桜ノ宮リバーサイドクリスマス
- 5 光の水都 ルネサンスポート2013
- 6 大阪城3D マッピング・スーパーイルミネーション
- 7 まいどおおきに!大阪ミナミ 光マッセ!
- 8 Welcoming あべてん「光の音色」

各イベントの詳細は、実行委員会事務局までお問合せください。

大阪・光の饗宴実行委員会事務局 TEL:06-6282-5919 URL: <http://www.hikari-kyoen.com/>